

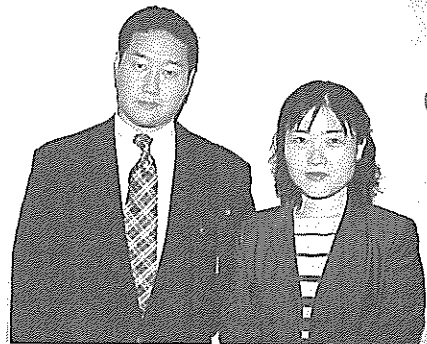
☆☆☆教職インタビュー☆☆☆

大坂 太郎師・智子師 Vol.10

今回は、今年度から中央聖書神学校の専任講師となられた、大坂先生夫妻にお話をお伺いしました。大坂先生の聖書への限りなき探求心と、そこからくる新約聖書の深い教えに学生達は感動しています。また、学生の近くで共に生活して下さる先生として深い交わりをさせて頂いています。大坂先生は今年度の前期において「新約聖書概論」、「ギリシャ語」、「組織神学」、後期には「聖書解釈学」、「ギリシャ語」を教して下さいます。

新聞部：21世紀、変化の時代を迎え、それに伴って新しい牧師像が要求されてきていますが、どのような伝道者養成を目指そうと考えておられますか。

大坂師：単に知識を詰め込み免状を出すだけの学びではなく、それを通して牧会で起こり得る様々な事柄に柔軟に対応でき、健全な批評を以て行動し、一過性のものに振り回されない牧会が出来る人材を育てて行きたいですね。



新聞部：先生の講義でモットーとしている事はなんですか。

大坂師：一言でいえば解りやすい講義です。「難しい」という先入観を取り除けるよう最大限に努力していきたいです。

新聞部：では、講義を通して学生に伝えたいメッセージは？

大坂師：学ぶ事、祈る事、奉仕する事を包括的に捉えるということです。知性と霊性を対立させるのではなく、両者を内包させようと常に努力することで新たな側面がわかるという事を教えたいと思っています。

新聞部：先生の将来のビジョン、もしくは夢はなんですか。

大坂師：『福音と文化』、『文脈化』などの課題に強い関心があるので、それらを説教に取り込んで、日本人や中国人の心に響くメッセージを語れるようになりたいと思っています。

新聞部：それでは、お二人の座右の銘は何でしょうか？

大坂師：わたしは『人には出来ないが神には出来る』でしょうか。出来ないわたしを意識させ、出来る神様に思いを馳せられるところが素晴らしいですね。

智子師：わたしはガラテヤ2章20節の言葉です。実際に起こってくる様々な問題に直面する時、「わたしは主と共に死んで、主と共に再び生かされた者」であり、主によって問題を乗り越えることが出来るという信仰に立つことが出来るのです。

新聞部：最後に学生に対してなにか一言。

大坂師：この3,4年間は神様から与えられた大切な時。将来のビジョンや理想の牧師、伝道者像を描きつつ日々をそれに向かって生きると同時に、交わりを通して兄弟姉妹との横のつながりも育んで欲しいですね。

中央聖書神学校学生募集

主の御声を聞いている者よ、来たれ！

入学資格：受洗後2年以上を経た忠実な教会員
高校卒業以上

住 所：〒70-0003 東京都豊島区駒込3-15-20

電話番号：03-3918-4925

http://www.cbc-j.ac.jp

入学案内は学校事務所にお申し出下さい。

智子師：決められた事を機械的にこなすだけでなく、それをする動機が、周りの人に対する愛であるべきことを知って、頂きたいですね。また、生活全体をキリストにある愛の生活として育んで欲しいと思います。これら生活の小さなことの積み重ねによって牧会生活は営まれていくのですから。

新聞部：ありがとうございました。

私たちの献身

四月二日、CBCに新しい献身者が加わりました。



杉浦麗美

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負いそしてわたしについて来なさい。」

(ルカ九章二三節)

高校二年生の夏、聖霊のバプテスマを受けました。

心の奥底から沸き上がる喜びと共に、生涯を主に献けたいという思いが与えられました。今日に至るまで主が導いて下さり、思いを確信へと変えて下さっています。与えられた学びと訓練の時、主の前に真摯な態度を持ち歩んで行きたいと願っております。

(相模原神召教会)



田中清人

ひゆるるう。風は思いのままに吹く。何処から来て何処へ行くのか。入学した今、改めて神様の導きを感じています。教会で生まれ育ち、自分のやりたい美術の道に行きましたが挫折し、さ迷った頃キリストの測り知れない愛をもう一度受けました。同時に幾人かの苦い子の抱えている現実を通して、自然とその様な世代への重荷が与えられ、全て明け渡してキリストに従うように導かれました。多くの祈り、助けを感謝しつつ、ひゆるるう……

(吉祥寺福音教会)



西川幸司

私は、関東分校の学びを終え

て後、今年四月に入学するまで、献身の機会が与えられる日を待っていました。しかし、その機会が何回か与えられたことがあったのですが、仕事のことや家庭のこと等を考えて一歩を踏みだすことができませんでした。それでも、私の献身の思いがなくなることなく、葛藤の日々でした。

去年の十月三女が、病氣にかかり入院をし、手術を受けましたが、その苦しんでいる姿をみたとき、ただ、ただ、祈るばかりでした。そして、イエス様に「助けてください。癒してください。あなたがこのような私でも必要とされているのでしたら、あなたに従います。」と祈りました。子供は多くの方の祈りにも支えられて、神様は、その祈りに答えて下さり、今では元氣になり学校に通っています。

私は、これ以上神様のみ旨に

反することはできないと考えて献身しました。
この人生をイエス様に捧げつくして、従いその栄光を仰ぎ見てゆきます。(篠原教会)



長谷川律子

多くの方々の祈りと犠牲と協力と支えによって、神学校で学べることを痛感しています。又、感謝に絶えません。

神様と出会い、たくさんの方々と出会いその中で献身を決断しました。

この学びと奉仕の中で、人間は人間であることを知り、神様を知りたいです。

この三年間、また生涯、主の御言葉を行っていく者でありたいし、主が私の友であるように、私も隣人の友になりたいです。(境港キリスト教会)

CBC NETWORK

三月八日、一八日の一日間、四年生六人が、教師一名とともに、沖縄にキャラバン伝道に赴いた。

三月二二日に大坂師で夫妻が、シンガポールでの学びを終えられ、神学校専任教師として着任された。

三月二三に故弓山喜代馬師の納骨式が執り行われた。

四月二日に中央聖書神学校の入学式が行なわれ、一〇名の新生と一名の関西分校からの進級生が入学した。分校では関東分校生三名、関西分校生一名が教会奉仕者コースに入学した。

四月三、四日に聖別会が持たれた。講師は菊山和夫師と吉山宏師であった。

四月九日に中央聖書神学校、二〇〇二年度新生歓迎会が行われた。

四月一三日、米国南部ニューイングランド教区、及びモンタナ教区の青年部の献金によって、一〇人乗り日産キャラバン・ワゴン車が与えられた。

四月一八日志村キリスト教会において開催された、板橋区の超教派祈禱会で、北野師がメッセージ、六名の学生が賛美の奉仕をした。

四月二六日に菊地和博師のご尊父、元教団総理菊地隆之助師が昇天された。

四月二九日に講師の鎌田正治先生(英語担当)が鯉を寄贈して下さいました。

五月二、三日に関東教区聖会で学生が参加、奉仕をした。

五月一八日に大坂太郎師が、シンガポール聖書大学より神学修士の学位を取得された。

五月二〇日に他の神学校との交流ソフトボール大会に、学生一名と教授一名が初めて参加した。

六月三日に、毎年恒例のスポーツ大会が開かれ、学生たちは野外で汗を流した。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成機関として発足以来、すでに五十年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会

会長 山田 亘

後援会入会要領

個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一十万円

☆連絡は中央聖書神学校内後援会宛にお願いいたします。

編集後記

「ユーモアとは、人の心の内にある深い悲しみを知り、その悲しみを慰めるところに生まれる」と教えてくれた先生がいた。人生の深み、心のひだを知っている人だけに語れる言葉があるのだろう。楽しさやうれしさだけではなく、悲しみや苦しみの中にこそ発見すべきものがあると感じた。

逆境の中でこそ主により頼み、主と共に生きる人生の深みを味わえるようにしたい。

(G・H)

編集スタッフ

竹中 範明 宮澤 幹彦
山岸よしあ 古川 雅香
平松 徹 アシス・ロベス

編集責任者 白石 慎男

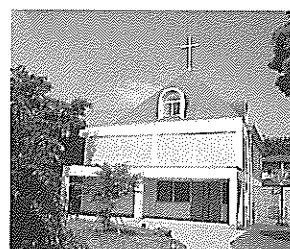
事務局 中央聖書神学校

豊島区駒込三二一五二〇

TEL 〇三三九一八四九二五

FAX 〇三三九一八四〇九九

CBC NEWS



ある時にはそれは、宣教学、牧会学、ギリシャ語講読、教会

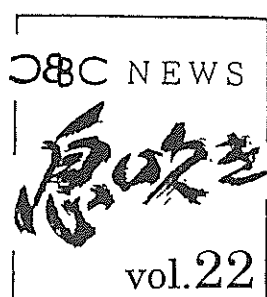
私の誇るべき冠

(第一テサロニケ

二章一九節、二〇節)

私がCBCの教壇に立つようになってから一一年が経過した。その間にも、多くの変化があり、また多くの取り組みがなされた。今振り返ると、私の神学校の教師としての生活は、確かに多忙の過程、研究科、分校と全てのプログラムに関わりながら、その中で海外での4つの神学校の講義に加え、CBCにおいて一年間に一三教科目の授業を担当することもあった。

史といった、私の専門分野である旧約聖書以外のものであった。



また、アジア・パシフィック

神学大学、及びその他の神学校において、この一一年間に二十八科目の授業を、そして幾つかの教会からの礼拝説教、及び短期間の牧会奉仕の要請、更にCBCにおける実務管理上の責任、感謝すべきことであるが、本音を言わせて頂ければ猫の手も借りたというのが実状である。

しかし、これらの労苦は、パウロがテサロニケの聖徒達へ宛てた手紙で述べている様に、「わたしたちの主イエス・キリストが来られるとき、その御前における希望、喜び、そして誇るべき冠」(二九節)に比べれば取るに足りないものである。パウロの「それは、あなたがた以

外のだれであるというのか？」(一九節)という言葉は、問題の核心を突いている。そして、それに続く、彼の「実に、あなたがたこそ、わたしの誇れであり、喜びなのです。」(二〇節)という少しばかり誇張された言葉は、困難な状況の中で感情の赴くままに語った者の言葉ではない。

これは私にとっても同様である。私にとって、希望、喜び、そして主の御前で誇るべき冠は、決して奉仕の年数、担当科目の多さ、また業務上の責任範囲の広さではない。それはCBCの卒業生と在校生において他にない。神学教育は人間である。それはしっかりと神に仕えることの出来る者とするための訓練である。それによって彼らは、道を失い、支援を必要としている聖徒達―即ち人間存在の主目的である、神の栄光を褒め称える者となることを約束された聖徒たちに―福音を宣べ伝える者となるのである。

過去、私は以下の三つの訓練

の重要性について学生に語り続けて来た。第一にそれは、知的訓練である。知識の伝達は神にしっかりと仕える人材を育成する為に必要な一つの要素である。また過去、現在、未来を問わず、重要な訓練の第二は、「豊かな霊的訓練」である。ペンテコステの指導者が教える時、それは単なる知識の詰め込みであってはいない。この霊的訓練において、学生は祈りにおいても力強くされ、神の導きを自らの人生と霊的成長の中に求める者とされるのである。最後に、それは言うまでもなく、CBCにおいて、様々な形式で実施されている実際の訓練の重要性である。そして、前述の霊的訓練が、この実際の訓練をより実りあるものにするのである。

CBCでの生活は、常にエデンの園のようであるという訳にいかない。苦闘と挫折を経験させられる時期がある。しかし、それを通して、「わたしたちの希望、喜び」となる人材が創り上げられていくのである。(D・H)

私たちの献身

本人に伝えたいです！それは私の夢です。祈ってください。
(登戸エクレシア教会)



榎本勝夫

主の御名を賛美します。三十年前の召しを、主は思いださし献身へと導いて下さった事を感謝します。

私の年で、中央聖書神学校に入学が、ゆるされて幸いに思います。



ルカの福音書に「あなたは人間をとる漁師になるのだ。」とありますが、この使命を主から与えられた事を確信して、私は終末のこの時代一人でも多くの魂を、獲得するため、用いられたいと願っています。

(江戸川台聖書教会)



塚本謙一郎

十数年前にフルゴスベル・ビジネスメンズ・フエローシップ (FGBMFI) という世界的な信徒伝道団体に加えていただいて以来、福音宣教がすべての信徒に与えられた恵みであり使命であること、主はそのために私たちを聖霊に満たし、聖霊の賜物を与えて伝道させてくださることを実践的に学んできました。今後とも伝道者として献身し、さらにバランスの取

れた良い働きができるように、神学校での学びを始めました。お祈り下さい。

(御影神愛キリスト教会)

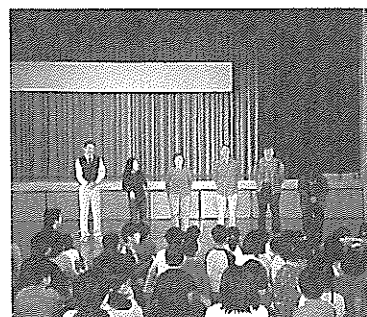
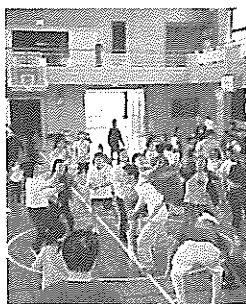
キャラバン伝道

「気候も人もめくかった」

— 沖縄キャラバンの証し —

四年 荻野倫夫

過ぎ去り三月八十八日、キャラバンに行つて参りました。キャラバンとは、神学校のアピールを目的とした「押しかけ伝道」。教区のご好意により実現しています。関東以外の教区を毎年順番に廻り、今年は沖縄でした。北野校長と現4年生の計7人で行つて参りました。



キャラバン後、神学校で毎朝行われるチャペルにて、四年生のメッセージは沖縄の証しが中心に。教区の先生方、信徒の方々に大つつつ変お世話になったこと、そこから学んだクリスチャン像、気候と人のあつたかさ、沖縄にて行われた非人道的戦争の歴史に思う人間の罪と救いの必要性、ご飯が多くて美味しかった等々。

今も祈祷会で沖縄のために祈らせて頂いています。

この場を借りて、トラクトを受け取ってくれた名も知らぬ笑顔の君、教会の皆様、救い主なる神に、心から感謝致します。

私たちの献身



平松 厳

小学五年生の時、主が語られた細く静かな、しかも力強い招きの声を聞き、主の前に立ち続けて十二年。「主に喜ばれる者になりたい」という思いは今も変わりません。「主を愛し、主に仕える者」であると同時に、「人を愛し、人に仕える者」でありたいと思います。

目指すべき高嶺は遥か彼方。

いつまでも、どこまでも主を頼みとし、近づきたいと思えます。主にあってわたしは生かされている！主に喜ばれる人生万歳！！(和泉神愛キリスト教会)



布施 宣義

1974年1月26日、原因不明の肺炎で誕生。いやされる。

12歳〜17歳、野球に献身。「牧師だけには絶対なりたくない」という気持ち抱く。18歳、仙台の大学へ進学、いい加減なクリスチャン生活。19歳、悔い改め。20歳、「あなたを人間をとる漁師にしてあげよう。私についてきなさい」献身の召しを頂く。22歳〜26歳、社会人生活。26歳〜28歳、泉福音チャペルで教会献身者として勤務。28歳、神に献身。主に委ねます。

(山形神召教会)



保田 美裕希

一九九九年の夏に、イエス様に出会いました。御手に捉えられ、言葉には尽くせない感動とともに、人生そのものをつくり変えていただきました。完全な赦しと救いの感動、新しいいの

ち、尽きない恵み。そして仕えることの喜び。ホンモノの人生を一人でも多くの(若い)方々と共有したい！

この土の器をどのように造り替え用いてくださるか、陶器師主に心から期待します！

(町田クリスチャンセンター)



矢吹 大介

一九九八年の五月に召しのメッセージはエゼキエル書二章三節〜七節からでした。

この召しを受けた後約四年後にCBCへの入学を主は導いてくださいました。

入学前は、教会の奉仕をしてゆく中で、神学の学びの必要を切実に感じていました。

この与えられてる期間を、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛

しなさい。』という御言葉を心に刻み神様に仕えてゆきたいです。(金沢キリスト教会)



アシス・ロペス

ある日の事...

一九七四年十月十五日、ブラジル(サンパウロ)に生まれ育ちました。

私は、ひとつの夢と共に中央聖書神学校に入学しました。日本で牧師になるということです。ある日、神様は私の心に語られました。「日本に行つて、日本人に伝道しなさい。」あれから三年過ぎて、私は従つて日本に来ました。

日本に来てから今まで自身の中にある色々な見えなかったものを感じました。特に私に対する神様の深い愛を感じました。卒業してから牧師になつて、その素晴らしい愛を日